

# 11 宝寿院

新義真言宗、豊山派の寺院である「宝寿院」。鈴木左衛門春昌が、父の菩提を弔うために境内地を寄進し、府中妙光院の塔頭であった寺院を移したといわれている。



# 12 江戸東京たてもの園 (小金井公園内)

桜の名所として名高い小金井公園には、江戸東京博物館の分館である「江戸東京たてもの園」がある。ここには文化的価値の高い建造物が移築・復元され、当時の情緒豊かな街並みが再現されている。



# 13 花小金井駅

西武鉄道新宿線の花小金井駅は、玉川上水沿いに植樹された山桜にちなんで名づけられたという。南口を出ると、大正から昭和時代に活躍した彫刻家、齋藤素巖の「カッパ」像が出迎えてくれる。

# 10 小川水衛所跡

江戸時代は「水番所」とよばれ、「水番人」が常駐して、玉川上水の水量確認や周辺の巡回、落ち葉やゴミの除去などを行っていた。明治維新後は東京都水道局の管轄になり、現在の名前に改められるも、1980年に廃止された。



# 9 小平市ふれあい下水道館

地下25mにある、本物の下水道管の中に入ることができる日本で唯一の施設。下水の色やにおいを実際に体験したり、下水道の役割やしくみ、歴史などを学ぶことができる。



# 8 こもれ日の径 (新堀用水)

その名の通り、木漏れ日が水面に揺れる癒やしの散策路。澄んだ流れの中では錦鯉が優雅に泳いでいる。ほかにアブラハヤやドジョウなどが生息している。姿を探しながら、のんびりと歩を進めるのもいだろう。



# 7 しょうせんじ 小川寺

薬師瑠璃光如来を本尊とする、臨済宗円覚寺派の小川寺。この鐘楼は、第二次世界大戦中に武器弾薬用に供出されたが、寸前で免れたといわれている。現在は小平市の有形文化財として、平和の尊さを今に伝える。

## 快汗! ウォーキングコース

# 玉川上水をめぐる旅② 武蔵砂川駅～花小金井駅 編



# 2 こんびら 金毘羅橋

小金井橋の「小金井桜」と並び、知る人ぞ知る桜の名所。淡雪のような山桜と、華やかな濃紅の枝垂れ桜が美しいコントラストを成し、春の訪れを告げている。初夏の夜には、ゲンジボタルの幻想的な光に出会えることも。



# 3 こんびら 金毘羅山

玉川上水を掘った土砂を盛ったといわれている、高さ15mほどの金毘羅山(富士塚ではないかとの説もある)。山の中腹には小さな秋葉神社、頂上には金毘羅神社と富士浅間神社があり、今も昔も地域の守り神として鎮座している。

# 4 東京都水道局小平監視所

玉川上水の水を「東村山浄水場」へ送る重要な拠点。沈砂池で砂を沈め、枯葉やゴミを取り除くなど、水質を管理。小平監視所の下流は一度流れが途絶えたが、現在は復活し、高度下水処理水が流れている。放流地点には、「清流復活の石碑」や人道橋が設けられ、水辺まで下りてせせらぎを間近で感じることができる。



# 6 新堀用水胎内堀 (ほっこめき) 竪穴

玉川上水から分水した新堀用水には、「胎内堀」と呼ばれる地下水路がある。地下に水路を通すために垂直に掘られた貴重な作業穴の跡が、当時の困難な工事の面影を残す。現在は柵で囲われた「謎の穴」として、散策路に点在している。



# 5 東京都薬用植物園

国内はもちろん世界中の薬用植物を収集し、約1600種を栽培。貴重な薬草が見られるほか、薬事資料館では薬に関する資料を展示している。

下の写真は、根が黄色いことから「オウゴン」という生薬名をもつ、シソ科のコガネバナ。根には抗酸化作用の高いフラボノイドが含まれる。



コース距離: 15km  
歩行時間: 4時間

- 1 武蔵砂川駅 0.9 km
- 2 金毘羅橋 0.19 km
- 3 金毘羅山 2.4 km
- 4 東京都水道局小平監視所 1.0 km
- 5 東京都薬用植物園 1.1 km
- 6 新堀用水胎内堀竪穴 1.6 km
- 7 小川寺 1.9 km
- 8 木もれ日の径 (新堀用水) 0.45 km
- 9 小平市ふれあい下水道館 0.9 km
- 10 小川水衛所跡 2.4 km
- 11 宝寿院 2.1 km
- 12 小金井公園 1.0 km
- 13 花小金井駅